

政 策 部

1. 部総括表

部名：政策部

(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1-1	政策課	474,286	451,462		22,824	
1-2	地域活力推進課	394,153	371,600		22,553	
1-3	予算課	71,349,717	70,462,879		886,838	
1-4	自治振興課	1,185,557	1,173,733	5,302	6,522	
1-5	水資源対策課	(313,390) 2,840,275	(313,390) 1,930,957	876,534	32,784	
1-6	統計調査課	310,190	298,700		11,490	
1-7	男女参画・県民活動課	123,240	115,742		7,498	
1-8	文化振興課	(121,307) 1,934,872	(66,861) 1,806,225	54,634	(54,446) 74,013	
1-9	瀬戸内国際芸術祭推進課	159,764	157,344		2,420	
1-10	デジタル戦略課	513,342	486,439	20,000	6,903	
1-11	情報システム課	850,150	776,845		73,305	
1-12	出納局	280,165	278,496		1,669	
1-13	議会事務局	1,168,488	1,154,990		13,498	
1-14	監査委員事務局	128,348	126,512		1,836	
	部計	(434,697) 81,712,547	(380,251) 79,591,924	956,470	(54,446) 1,164,153	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-1-1	東京事務所運営費	202,527	197,246		5,281	東京事務所の運営に要する経費 給料58,670、職員手当等54,474、 共済費23,852
1-1-2	政策立案推進事業	93,860	90,224		3,636	主要施策の成果の概要 (1-1-2)に記載
1-1-3	政策課運営費	140,757	140,197		560	政策課の運営に要する経費 給料66,647、職員手当等43,610、 共済費24,615
1-1-4	政策部運営事務費	12,505	9,880		2,625	政策部の運営に要する経費
1-1-5	大学生等奨学事業繰出金	24,637	13,915		10,722	主要施策の成果の概要 (1-1-5)に記載
	課計	474,286	451,462		22,824	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：政策課

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
政策課	(1) 16	2	(1) 18	全国知事会へ派遣1名
東京事務所	(7) 13	4	(7) 17	派遣職員7名
合計	(8) 29	6	(8) 35	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>政策立案推進事業（1-1-2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>「人生100年時代のフロンティア県」の実現をめざして、人口減少や中枢拠点機能の強化等、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、調査研究や各種取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 政策立案推進事業（73,957千円）</p> <p>①香川県総合計画改訂・推進事業等（12,475千円）</p> <p>昨今の社会経済情勢等の変化を踏まえ、全部局が県民目線に立って一体となって施策を推進する視点で、県総合計画を「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」として見直し、施策の再構築などを行った。</p> <p>また、有識者等との懇談会を開催し、施策評価の結果をもとに、県総合計画の進捗状況について意見交換を行うとともに、県の主要事業を紹介するパンフレット「県政のあらまし」を作成した。</p> <p>②空飛ぶクルマ導入検証事業（11,696千円）</p> <p>空飛ぶクルマの飛行ルートや潜在的ニーズ等、導入の検証に必要な調査・分析を行う需要予測等調査を行うとともに、空飛ぶクルマを広く県民に知っていただき、理解を深めてもらうため、実物機体の展示イベントを開催した。</p> <p>また、今後の県内展開に向け、「空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会」において有識者による講演や様々な関係者との情報共有や意見交換を行った。</p> <p>③SDGs普及促進事業（480千円）</p> <p>SDGsに積極的に取り組む県内事業者等の活動を「見える化」する本県独自の登録制度「かがわ地方創生SDGs登録制度」を創設し、県内におけるSDGsの普及促進を図った。</p> <p>④ふるさと想起・さぬきPR推進事業（15,292千円）</p> <p>ふるさと納税「ガンバレさぬき応援寄付」について、より効果的にPRするとともに、ふるさと香川への思いを喚起するきっかけとするため、寄付をいただいた方に対し、県産品を贈呈した。</p>	<p>県総合計画の見直しにあたり、令和5年6月に素案、8月に最終案について有識者からの意見を伺うための懇談会を開催した。</p> <p>また、11月に開催した有識者等との懇談会でいただいた意見については、施策評価結果とあわせて、事務事業の見直しの参考とした。</p> <p>パンフレット「県政のあらまし」については、東京・大阪事務所、県の出先機関等で配布し、県の事業に対する理解の促進と県の魅力のPRに役立てた。</p> <p>調査・分析の結果を踏まえ、香川県における空飛ぶクルマの活用方策を示したビジョンと、その実現に向けた課題や必要な取組みを示したロードマップを策定した。</p> <p>令和6年1月21日にサンポート高松で開催した空飛ぶクルマの実物機体を展示したイベント「空飛ぶクルマ展@高松」では、約2,000名が来場した。</p> <p>令和5年度に2回募集を行い、計64者を登録した。また、11月に「かがわSDGs講演会」を開催した。</p> <p>令和5年度「ガンバレさぬき応援寄付」受入実績は2,222件、29,683千円となった。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>⑤奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業 (5,896千円)</p> <p>本県の産業を担う人材を確保するとともに、これらの者が県内に定着することを促進するため、大学生等を対象とした日本学生支援機構の無利子奨学金について、その返還を支援する事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰り出した。</p>	<p>返還支援の対象者の募集を行い、令和6年度に大学等へ進学・進級する37名について返還支援の対象者とした。</p> <p>また、令和5年度に支援条件を満たした対象者7名に対して奨学金特別会計から総額4,140千円の返還支援を実施した。</p>
<p>⑥瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業（広報） (9,703千円)</p> <p>我が国最初の国立公園の瀬戸内海国立公園が、指定から90周年を迎える節目に、瀬戸内海の価値や魅力、美しさをさらに高め、県内外に広める取組みとして、令和6年3月から実施する「瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業」全体をPRするための広報を実施した。</p>	<p>記念事業のポスターやパンフレット、新聞広告、SNS等を通じて、県内外に向けて瀬戸内海の魅力を発信し、90周年の機運を高めた。</p>
<p>⑦東京讃岐会館等東京地区県有資産利活用推進事業 (18,415千円)</p> <p>東京讃岐会館を含む三田小山町西地区における、第一種市街地再開発事業の進展に併せて、東京地区における県有資産の有効な利活用を図るための取組み等を行った。</p>	<p>再開発事業で取得する権利床の運営事業者選定に向け、民間事業者から幅広く意見を募るマーケットサウンディングを実施するとともに、権利床の運営スキームの検討や公募関係資料（骨子）の作成等を行った。</p>
<p>(2) 広域自治体連携推進事業（16,267千円）</p>	
<p>①地方分権改革推進事業等（12,556千円）</p> <p>地方分権改革の推進を図るため、全国知事会や四国知事会等と連携した検討及び国への提案等を行った。</p>	<p>地方分権改革について、本県から1件を提案するとともに、四国知事会を通じて四国各県と5件の共同提案を行った。</p>
<p>②四国4県連携推進事業（3,711千円）</p> <p>四国4県で、県境を越えた広域的課題に対応するとともに、地域の総合力の向上や行政としての効率的対応が期待できる交流・連携の取組みを推進した。</p>	<p>「四国遍路の世界遺産登録の推進」ほか8事業について、4県が連携して実施した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>大学生等奨学事業（1-1-5）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>意欲や能力が高く、経済的な理由で修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることにより修学を容易にし、安心して子どもが育てられる環境づくりを進めるとともに、Uターン就職者等への返還免除制度を通じて、県内における優秀な人材の確保を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大学生等奨学事業（13,915千円）</p> <p>大学生等への奨学金貸付事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰出し、同特別会計において、無利子奨学金の貸付け等を行った。</p> <p>貸付対象：県内に保護者が居住し、大学、高等専門学校（第4・5学年）又は専修学校（専門課程）等に在学する者で、意欲及び能力が高く、かつ、経済的な理由により修学することが困難の者</p> <p>貸付金額：133,621千円</p>	<p>令和5年度に新たに貸付けを開始した60名を加え、226名に無利子奨学金の貸付けを行った。</p> <p>また、686名から計120,552千円の返還があり、37名に対してUターン就職による返還額の一部免除（計29,640千円）を行った。</p>

2. 課総括表

課名：地域活力推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-2-1	政策立案推進事業	1,387	91		1,296	主要施策の成果の概要 (1-2-1)に記載
1-2-2	大学等魅力づくり支援事業	18,931	14,876		4,055	主要施策の成果の概要 (1-2-2)に記載
1-2-3	移住・定住促進事業	215,297	201,197		14,100	主要施策の成果の概要 (1-2-3)に記載
1-2-4	地域づくり推進事業	30,139	27,409		2,730	主要施策の成果の概要 (1-2-4)に記載
1-2-5	地域活力推進課運営費	128,399	128,027		372	地域活力推進課職員の給与費等 給料63,818、職員手当等40,652 共済費22,615
	課計	394,153	371,600		22,553	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：地域活力推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
地域活力推進課	(1)14	3	(1)17	育児休業1名 国立大学法人香川大学へ派遣1名
合計	(1)14	3	(1)17	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>政策立案推進事業（1-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 「第2期かがわ創生総合戦略」や香川県総合計画について、地域の産官学金労言等の有識者からの意見を求めるため、懇談会を開催したほか、企業版ふるさと納税による寄附を推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ創生総合戦略推進事業（91千円） 「香川県総合計画の見直しに係る有識者懇談会」を開催し、県総合計画を県総合戦略としても位置付けることとする、総合計画の見直し案について意見を求め、総合計画を見直し、「第2期かがわ創生総合戦略」を廃止した。</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税推進事業 「企業と地方公共団体とのマッチング会」にてプレゼンテーションを実施するなど、寄附受入額の増加に向けて取り組み、企業版ふるさと納税制度を活用した県外企業から本県への寄附を推進した。</p>	<p>「第2期かがわ創生総合戦略」基本目標と重要業績評価指標の達成状況を把握し、対策の効果を検証した。</p> <p>令和5年度の企業版ふるさと納税による寄附は、7件で20,776千円となった。</p>																		
<p>大学等魅力づくり支援事業（1-2-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内の大学等（大学・短期大学・高等専門学校）を基点に経済団体や自治体で組織する「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、人材の育成や定着、人材が活躍する場の形成を目的とする各種の取組みや産学官が連携して実施する事業に対する費用の助成を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 大学等の強みを生かした地域を支える大学づくり支援事業（14,876千円） 「大学・地域共創プラットフォーム香川」の各部会において情報共有や意見交換等を行い、県内大学等の情報を集約した「キャンパスガイド」のホームページ作成や合同進学説明会の開催、業種別オンライン県内企業見学ツアー、産学官連携促進のための交流会などを実施した。 また、VR技術を活用して高校生に薬剤師の作業現場を体験させ、薬学部への進学を促す事業や、大学が持つDX推進の手法を中小企業向けに展開する事業など、産学官が連携して地域課題の解決を図る事業に対する費用の助成を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県内大学等における関係機関との連携協定締結数 (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 1081 1401 1238"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>313</td> <td>335</td> <td>423</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 1319 1401 1476"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.3</td> <td>40.1</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学等におけるリカレント講座の受講者数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="943 1599 1401 1756"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28~R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,185</td> <td>1,018</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	313	335	423	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	43.3	40.1	52.0	基準値 (H28~R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	1,185	1,018	1,200
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																	
313	335	423																	
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																	
43.3	40.1	52.0																	
基準値 (H28~R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																	
1,185	1,018	1,200																	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																														
<p>移住・定住促進事業（1-2-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 大都市圏等からの移住・定住の促進を図るため、市町等と連携して、香川の魅力を積極的にPRするとともに、受入体制の整備・充実に向けた取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 市町連携等移住・定住促進事業（8,742千円） ①かがわ暮らし魅力発信事業（2,673千円） 移住・定住を促進するため、本県の魅力等をホームページやSNS等により広く情報発信した。 ②香川県移住・定住推進協議会事業（4,500千円） 市町との連携による移住フェアや、地域別に移住者交流会等を開催し、移住者が定住できる環境整備を図った。 ③四国4県等連携等移住促進事業（1,569千円） 香川の魅力を積極的にPRするため、近県と連携し、四国4県移住フェア等を開催した。</p> <p>(2) ワンストップ移住相談窓口サービス提供事業（28,958千円） 就職・移住支援センター、東京事務所、大阪事務所、ふるさと回帰支援センターに移住・交流コーディネーターを配置し、ワンストップで移住相談対応を行った。</p> <p>(3) 東京圏U J I ターン就職等推進事業（32,268千円） 地方創性推進交付金を活用し、東京圏から本県に移住し、県内中小企業等に就職した者に対して、移住支援金を交付した。</p> <p>(4) 地域活性化U J I ターン促進事業（39,944千円） ①Uターン就職等促進事業（3,393千円） 東京・大阪等において転職希望者や学生向けの就職相談会・交流会等を開催し、就職情報の提供等を行った。 ②Uターン・県内就職促進情報発信・調査事業（1,598千円） 県外大学進学者のUターン就職と県内大学進学者の地元就職を促進するため、かがわ暮らしの魅力等を紹介するパンフレットを作成し、学生等に送付した。 ③プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（34,953千円） 「プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営を公益財団法人かがわ産業支援財団へ委託し、県外の潜在的なU J I ターン希望者等と地域企業の求人とのマッチングを促進した。</p> <p>(5) 空き家バンク運営等事業（84,996千円） 市町と連携し、空き家バンクへの登録を条件として、空き家の改修・家財の処分費等に対して助成を行うとともに、令和5年3月末までに香川へ移住し、民間賃貸住宅に居住する場合の家賃等の一部を助成した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県人口（各年10月1日現在）（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 313 1404 459"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>951,049</td> <td>925,408</td> <td>925千人</td> </tr> </tbody> </table> <p>人口の社会増減（暦年）（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 526 1404 672"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲1,381</td> <td>55</td> <td>1,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>若者の社会増減（前年10月～当年9月）（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 739 1404 884"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲1,810</td> <td>▲925</td> <td>251</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率（再掲）（%）</p> <table border="1" data-bbox="941 963 1404 1120"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.3</td> <td>40.1</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県外からの移住者数〔累計〕（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 1187 1404 1344"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R3～R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,951</td> <td>2,765</td> <td>12,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>市町と連携した移住・定住促進の取組み等により、令和5年度の移住者数は2,765人となり、過去2番目に多い水準となった。</p> <p>プロフェッショナル人材戦略拠点における、民間の人材紹介事業者と連携した、企業訪問によるニーズの掘り起こしやマッチングの促進により、令和5年度の県外人材のマッチング成約件数は70件となった。</p> <p>移住希望者の住まいの確保を支援するため、関係機関と連携して、住まいに関する相談対応を総合的に行うことにより、空き家の成約件数（売買及び賃貸）は、平成30年度から令和5年度までの累計で2,635件</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	951,049	925,408	925千人	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	▲1,381	55	1,000人	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	▲1,810	▲925	251	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	43.3	40.1	52.0	基準値 (H28～R2)	実績値 (R5)	目標値 (R3～R7)	8,951	2,765	12,400
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																													
951,049	925,408	925千人																													
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																													
▲1,381	55	1,000人																													
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																													
▲1,810	▲925	251																													
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																													
43.3	40.1	52.0																													
基準値 (H28～R2)	実績値 (R5)	目標値 (R3～R7)																													
8,951	2,765	12,400																													

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(6) テレワークを活用した人の流れ創出拡大事業 (6,289 千円)</p> <p>①地方創生テレワークによる移住促進事業 (3,574 千円) 市町や事業者等によるサテライトオフィス等の開設を支援するとともに、企業への情報発信を実施した。</p> <p>②お試しテレワーク移住助成事業 (2,715 千円) 東京圏及び大阪圏に在住する移住希望者に、本県でのお試しテレワークを体験してもらうため、旅費、宿泊費、施設利用料相当分に対する定額の助成等を行った。</p>	となった。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>地域づくり推進事業（1－2－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 魅力ある地域づくりに向けて、地域住民等が主体となった地域づくり活動の推進に努めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 地域コミュニティ活性化支援事業（11,349千円） 個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域づくり団体が新たに取り組む魅力ある地域づくりに対して経費の一部を助成するとともに、地域づくり実践者等を対象とした研修会を開催した。 また、県の地域おこし協力隊が中心となって、県内で地域づくり活動に取り組む団体等の情報発信等を行った。</p> <p>(2) 市町地域づくりモデル事業（7,100千円） 地域活力の向上を図るため市町が取り組む先進的又はモデル的な事業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p>(3) 関係人口と連携・協働した地域づくり実践支援事業（4,940千円） 地域を支える担い手の確保や中間支援組織の育成、本県への将来的な移住・定住につなげるため、関係人口と連携・協働して、地域づくり団体等が実施する地域課題の解決を図るモデル的な取組みを支援した。</p> <p>(4) 過疎地域対策事業（480千円） 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法により指定された市町における、地域資源を活用し過疎地域の持続的発展を図る取組みを支援した。</p> <p>(5) 離島活性化推進等事業（3,540千円） 各島の魅力を広く情報発信するフェアを開催するとともに、ラジオ番組で各島の魅力をPRするなど、積極的な情報発信を行った。</p>	<p>3. 指標 県内で活動する地域おこし協力隊員数（人）</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1401 510"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>64</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特別交付税ベースの人数</p> <p>地域運営組織の組織数（組織）</p> <table border="1" data-bbox="943 633 1401 790"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83</td> <td>81</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年度は、高松市や丸亀市、さぬき市における4団体の取組みを支援し、延べ252名の関係人口と連携・協働した。</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	45	64	73	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	83	81	96
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
45	64	73											
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
83	81	96											

2. 課総括表

課名：予算課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-3-1	予算課運営費	179,773	176,658		3,115	予算課の運営に要する経費等 給料83,097、職員手当等53,325、 共済費35,553
1-3-2	予算調整事業費	10,269,716	10,268,868		848	予算調整にかかる事務等に要する 経費 基金積立金7,711,195 一般会計県債の償還元金
1-3-3	元金（公債費）	56,147,711	56,147,711			
1-3-4	利子（公債費）	4,666,519	3,861,518		805,001	一般会計県債の利子及び一時借入 金の利子
1-3-5	公債諸費	35,998	8,124		27,874	県債の借入及び償還事務等に要す る経費
1-3-6	予備費	50,000			50,000	
	課計	71,349,717	70,462,879		886,838	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：予算課

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
予算課	21		21	
合計	21		21	

2. 課総括表

課名：自治振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-4-1	小豆総合事務所運営費	81,990	74,280	5,302	2,408	小豆総合事務所の運営に要する経費 給料29,026、職員手当等19,568、共済費10,180
1-4-2	香川県権限移譲等交付金事業	68,613	68,576		37	県の権限の市町への移譲等に伴う交付金
1-4-3	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業	56,032	55,801		231	住民基本台帳ネットワークシステムの運営に要する経費
1-4-4	マイナンバーカード普及促進事業	4,593	4,735		▲ 142	主要施策の成果の概要(1-4-4)に記載
1-4-5	自治振興課運営費	253,593	252,786		807	自治振興課の運営に要する経費 給料114,951、職員手当等73,086、共済費39,397
1-4-6	市町職員研修費	10,293	10,293			市町職員の研修に要する経費
1-4-7	市町行財政税務連絡調整費	3,051	2,875		176	市町行財政等の連絡調整等に要する経費
1-4-8	市町振興費	5,521	5,053		468	市町の行財政運営等の支援に要する経費
1-4-9	市町村振興宝くじ交付金	379,754	379,754			主要施策の成果の概要(1-4-9)に記載
1-4-10	選挙管理委員会費	29,792	28,956		836	県選挙管理委員会の運営に要する経費 給料12,750、職員手当等7,931、共済費4,640、委員報酬3,285
1-4-11	選挙啓発費	888	747		141	選挙常時啓発事業等の推進に要する経費
1-4-12	県議会議員選挙費	291,437	289,877		1,560	県議会議員選挙(令和5年4月9日執行)に要する経費
	課計	1,185,557	1,173,733	5,302	6,522	

3. 職員数の状況 (R6. 3. 31現在)

課名：自治振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
自治振興課	[1] (17) 19	[3] (1) 3	[4] (18) 22	市町派遣職員17名、選挙管理委員会事務局併任職員1名
小豆総合事務所総務課	[1] (2) 7	7	[1] (2) 14	
合計	[2] (19) 26	[3] (1) 10	[5] (20) 36	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を () 外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>マイナンバーカード普及促進事業（1-4-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの交付率向上を目指し、マイナンバーカード普及促進の取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) マイナンバーカード普及促進事業（4,735千円） マイナンバーカードの申請機会の拡大を図るため市町と合同で出張申請会場を設置したほか、高齢者施設等に赴き、マイナンバーカードの申請支援及び代理受取を行った。</p>	<p>市町と合同で県内6か所の大型商業施設に出張申請会場を設置して、81名の方のマイナンバーカード申請をサポートするとともに、241名の方のマイナンバーカード申請支援及び代理受取を行った。</p>
<p>市町村振興宝くじ交付金（1-4-9）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ等）及び新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ等）の収益金等の全額379,754千円を、市町の財源等として活用するため（公財）香川縣市町村振興協会に交付した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 収益金等の内訳 令和5年度収益金 360,180千円 令和4年度時効金 19,574千円</p> <p>(2) （公財）香川縣市町村振興協会の事業 県からの交付金を受け入れ、市町が公共事業等を行うための地方債資金等として活用したほか、市町に交付金として配分した。</p>	<p>県から（公財）香川縣市町村振興協会へ交付したサマージャンボ宝くじ収益金等249,528千円は市町への低利の地方債資金等として活用され、また、ハロウィンジャンボ宝くじ収益金等は全額130,226千円が市町に配分され、市町の一般財源として活用された。</p>

2. 課総括表

課名：水資源対策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-5-1	水資源対策の推進	(313, 390) 2, 086, 927	(313, 390) 1, 191, 844	875, 150	19, 933	主要施策の成果の概要 (1-5-1)に記載
1-5-2	全国水需給動態調査	631	631			国からの委託による水資源対策に関する資料の収集整理に要する経費
1-5-3	水資源対策課運営費	748, 486	735, 644		12, 842	水資源対策課の運営等に要する経費 給料372, 202、職員手当等236, 965、共済費122, 138
1-5-4	かがわ水循環社会形成事業	812	811		1	水の有効利用の促進と節水意識の高揚を図るための取組み検討に要する経費
1-5-5	水道法施行等指導事業	2, 035	2, 027		8	水道法施行等指導事務費
1-5-6	早明浦ダム災害復旧費負担金	1, 384		1, 384		令和3年8月豪雨に伴う早明浦ダムの災害復旧工事に係る負担金
	課計	(313, 390) 2, 840, 275	(313, 390) 1, 930, 957	876, 534	32, 784	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6. 3. 31現在)

課名：水資源対策課

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
水資源対策課	9	(82) 1	(82) 10	香川県広域水道企業団派遣82名
合計	9	(82) 1	(82) 10	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>水資源対策の推進（1-5-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 安心して暮らせる水循環社会の確立をめざして安全な水の安定的供給に資する事業など総合的な水資源対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川用水水源の森保全事業（18,733千円） 香川用水の水源地域である吉野川上流域の森林の水源かん養機能を保持するため、高知県嶺北地域で行われた森林の除間伐等に対し助成した。</p> <p>(2) 香川用水県外水源地学習事業（4,331千円） 香川用水や水資源の重要性についての認識を深めるとともに、水源地域との交流を促進するため、中学1年生及び小学4年生が早明浦ダム又は池田ダムを見学する学校行事等を支援した。</p> <p>(3) 水道施設整備事業（1,167,970千円） 老朽化した水道施設の更新・耐震化や渇水時の水道水源の確保など、香川県広域水道企業団が行う水道施設整備事業に対し助成を行った。 ①生活基盤施設耐震化等交付金事業（1,159,058千円） ②水道渇水対策支援事業（7,657千円） ③五名ダム水道渇水対策支援事業（1,255千円）</p> <p>(4) 節水型街づくり推進事業（810千円） 水の有効利用を図るため、要綱に基づき雑用水利用施設の設置指導を行うとともに、県民の節水意識を高めるため、節水型街づくり推進協議会を通じた各種啓発活動を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県内上水道施設（基幹的な水道管）の耐震管率（%）</p> <table border="1" data-bbox="941 347 1404 492"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.3</td> <td>25.0</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>普段の生活で節水している人の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="941 604 1404 750"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80.6</td> <td>82.8</td> <td>84以上</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	23.3	25.0	33	基準値 (R元)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	80.6	82.8	84以上
基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
23.3	25.0	33											
基準値 (R元)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
80.6	82.8	84以上											

2. 課総括表

課名：統計調査課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-6-1	統計調査総務費	175,944	173,983		1,961	統計専任職員の給与費及び事務費等 給料88,014 職員手当等50,004 共済費27,489
1-6-2	人口経済統計費	104,279	100,162		4,117	総務省所管基幹統計調査等に要する経費
1-6-3	労働統計費	15,812	15,458		354	厚生労働省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-4	農林水産統計費	9,963	5,765		4,198	農林水産省所管基幹統計調査等に要する経費
1-6-5	教育統計費	1,192	876		316	文部科学省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-6	地方統計費	3,000	2,456		544	県単独調査、統計資料作成に要する経費
	課計	310,190	298,700		11,490	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：統計調査課

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
統計調査課	25	3	28	産後休暇1名
合計	25	3	28	

2. 課総括表

課名：男女参画・県民活動課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-7-1	共助の社会創造事業	42,752	36,846		5,906	主要施策の成果の概要 (1-7-1)に記載
1-7-2	男女参画・県民活動課運営費	48,701	48,297		404	男女参画・県民活動課の運営に要する経費 給料25,216、職員手当等14,713、共済費7,752
1-7-3	男女共同参画社会形成促進事業	11,455	11,095		360	主要施策の成果の概要 (1-7-3)に記載
1-7-4	女性活躍促進事業	20,332	19,504		828	主要施策の成果の概要 (1-7-4)に記載
	課計	123,240	115,742		7,498	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：男女参画・県民活動課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
男女参画・県民活動課	6	4	10	市町派遣職員1名、育児休業1名
合計	6	4	10	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>共助の社会創造事業（1-7-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 地域団体活動やボランティア・NPO活動の促進、県民・NPOとの協働の推進、共助意識の啓発など、「共助の社会」の実現に向けての取組みを進めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 共助の社会きっかけづくり事業（45千円） ホームページ「かがわ共助のひろば」や総合受付窓口「NPOネットワークプラザ」の運営等により、ボランティアやNPOの活動情報等を収集・発信し、共助の社会づくりについて普及啓発事業を行った。</p> <p>(2) 共助の社会ひろがりづくり事業（90千円） NPOとの協働を推進するとともに、優れたボランティア活動に対する顕彰を行い、受賞活動を広く周知することで、県民活動のひろがりづくりを促進した。</p> <p>(3) NPO法人運営のためのステップアップ事業（639千円） NPO法人の運営を支援するため、オンライン及び対面での相談窓口を開設し、さまざまな相談に対応するとともに、適切な法人運営を助言する現地診断を行った。</p> <p>(4) 災害ボランティア等との連携強化事業（292千円） 南海トラフ地震や豪雨災害の発生が懸念される中、本県において県内外から参加する災害ボランティアが効率的かつ効果的に活動するため、行政、社会福祉協議会等関係機関と災害時の情報共有のための訓練を実施した。</p> <p>(5) NPO法人活動促進事業（408千円） ①NPO法人認証等事業 NPO法人の設立認証及び設立後の指導監督を行った。 ②認定NPO法人等認定等事業 「認定NPO法人」及び「特例認定NPO法人」の認定等に関する事務を行った。</p> <p>(6) NPO基金管理運営事業（35,372千円） 個人や企業からの寄附金を「香川県特定非営利活動促進基金（NPO基金）」に積み立て、これを財源としてNPO法人の活動資金を助成した。</p>	<p>3. 指標 認定（特例認定）特定非営利活動法人数（法人）</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1401 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボランティア大賞受賞者 一般部門 1個人 2団体 企業部門 1団体</p> <p>NPO等の相談窓口事業 84件 現地診断事業 3件</p> <p>参加者：香川県、各市町、香川県社会福祉協議会、各市町社会福祉協議会</p> <p>①NPO法人数（年度末） 392法人</p> <p>②認定（特例認定）NPO法人数（年度末） 認定 10法人 特例認定 0法人</p> <p>基金登録団体数（年度末）91団体 補助金額 ・団体指定寄附 5,651,005円（7団体） ・分野指定寄附 20,780,977円（19団体）</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	8	10	13
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)					
8	10	13					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>男女共同参画社会形成促進事業（1－7－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 「香川県男女共同参画推進条例」を基本指針として、男女共同参画社会の形成と豊かで活力ある地域社会の実現を目指し、「第4次かがわ男女共同参画プラン」及び「第4次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」に基づく各種事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 男女共同参画社会づくり推進事業（872千円） ①男女共同参画広報啓発事業 男女共同参画週間等におけるパネル展の開催や、「第4次かがわ男女共同参画プラン」及び「第4次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」の周知など、男女共同参画意識醸成のための広報啓発を行った。 ②男女共同参画推進員事業 地域で男女共同参画を推進するため、「かがわ男女共同参画推進員」42名（各市3名、各町2名）を配置し、推進活動を展開した。 ③配偶者暴力防止啓発事業 啓発用リーフレット等を活用して、配偶者からの暴力を許さない社会づくりに向けた広報・啓発を行った。 ④男女共同参画社会づくり行動促進事業 男女共同参画社会の実現に向け、地域や家庭における一人ひとりの具体的な行動を促すため、「SDGsの推進」というテーマを設定し、男女共同参画フォーラムを実施した。</p> <p>(2) 男女共同参画相談プラザ事業（10,223千円） 香川県社会福祉総合センター3階の「かがわ男女共同参画相談プラザ」において、性別による差別的取扱いなどに関する県民の悩みや相談に適切に対応するとともに情報提供などを行った。</p>	<p>3. 指標 社会全体における男女の地位について「平等」と答えた者の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1412 519"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.3 (R元)</td> <td>11.5</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2年度の数値は「香川県男女共同参画社会に関する意識調査」より R5年度の数値は「県政世論調査」より</p> <p>配偶者等から暴力を受けた経験がある被害者の相談先について「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた者の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="914 884 1412 1050"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36.4 (R元)</td> <td>29.9</td> <td>18.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2年度の数値は「香川県男女共同参画社会に関する意識調査」より R5年度の数値は「県政世論調査」より</p> <p>男女共同参画社会づくり行動促進事業参加者数 111人</p> <p>かがわ男女共同参画相談プラザ相談件数 一般相談 866件 特別相談 1件</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	14.3 (R元)	11.5	20	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	36.4 (R元)	29.9	18.2
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
14.3 (R元)	11.5	20											
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
36.4 (R元)	29.9	18.2											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>女性活躍促進事業（1-7-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 女性が活躍するために必要な情報を得られる環境をつくとともに、セミナー等を開催して意識の啓発を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 男女共同参画協働事業（1,000千円） 地域リーダー等の資質の向上を図るとともに、男女共同参画の視点からの課題解決に取り組むため、特定課題について、NPO、地域団体等から提案のあった事業を協働して実施した。</p> <p>(2) 性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」運営事業（12,839千円） 性犯罪・性暴力被害者に対して、被害直後からの総合的な支援を可能な限り一か所で提供するため、性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」を運営した。</p> <p>(3) 女性が輝くリーダー養成事業（4,013千円） 政策・方針決定過程などさまざまな分野へ参画し、リーダーとして責任を果たせる人材を養成するため、連続6回の「女性が輝くリーダー養成セミナー」と、女性リーダーがお互いに支え合いながら成長するためのネットワークづくりを実施した。</p> <p>(4) 女性デジタル人材育成事業（1,652千円） 女性を対象にデジタルスキルを活用した起業やフリーランス等の「新しい働き方」を支援するための事業を実施した。</p>	<p>3. 指標 県の審議会等に占める女性委員の割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1414 515"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35.8</td> <td>39.1</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>男女共同参画協働事業参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代の多様性のある防災リーダー育成を考えるシンポジウム 175人 ・次世代育成「住みやすいかがわ！輝かせよう女性の力で」 386人 <p>相談実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 505件 付添支援 10件 <p>女性が輝くリーダー養成事業参加者数 31人</p> <p>女性のためのテレワークを活用したビジネスマッチング加速化支援事業参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドソーシングセミナー 16名 ・クラウドコーチプログラム 17名 	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	35.8	39.1	40
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)					
35.8	39.1	40					

2. 課総括表

課名：文化振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-8-1	職員給与費 (文化振興課)	142,587	142,309		278	文化振興課職員の給与費 給料71,889、職員手当等45,522、 共済費24,898
1-8-2	文化芸術総務費	11,775	11,643		132	文化振興課の運営に要する経費
1-8-3	文化芸術活動振 興事業	10,163	9,656		507	主要施策の成果の概要 (1-8-3)に記載
1-8-4	芸大連携美術展 開催事業	5,552	5,068		484	主要施策の成果の概要 (1-8-4)に記載
1-8-5	さぬき映画祭事 業	8,000	7,746		254	主要施策の成果の概要 (1-8-5)に記載
1-8-6	県民ホール事業	(91,437) 435,214	(46,138) 382,851		(45,299) 52,363	主要施策の成果の概要 (1-8-6)に記載
1-8-7	県立ミュージア ム事業	(29,870) 574,230	(20,723) 558,214		(9,147) 16,016	主要施策の成果の概要 (1-8-7)に記載
1-8-8	東山魁夷せとう ち美術館事業	132,547	77,174	54,634	739	東山魁夷せとうち美術館の運営等 に要する経費 給料13,444、職員 手当等8,324、共済費4,491
1-8-9	漆芸研究所事業	84,012	82,674		1,338	漆芸研究所の運営等に要する経費 給料21,569、職員手当等13,946、 共済費7,230
1-8-10	香川漆芸活性化 推進事業	9,157	8,111		1,046	主要施策の成果の概要 (1-8-10)に記載
1-8-11	世界遺産登録推 進事業	17,595	17,152		443	主要施策の成果の概要 (1-8-11)に記載
1-8-12	讃岐の伝統文化 保存継承事業	4,040	3,627		413	主要施策の成果の概要 (1-8-12)に記載
1-8-13	香川県文化芸術 振興基金事業	500,000	500,000			文化芸術の振興のための財源を確 保するため、香川県文化芸術振興 基金へ積み立てるもの
	課計	(121,307) 1,934,872	(66,861) 1,806,225	54,634	(54,446) 74,013	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：文化振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
文化振興課	(1) 18	2	(1) 20	
県立ミュージアム	(4) 25	[3] (1) 10	[3] (5) 35	育児休業1名
東山魁夷せとうち美術館	[1] 3	1	[1] 4	
漆芸研究所	[3] 5	[1] (4) 12	[4] (4) 17	
合計	[4] (5) 51	[4] (5) 25	[8] (10) 76	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を〔〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>文化芸術活動振興事業（1－8－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 本県の文化芸術の振興を図るため、文化表彰等の事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容（9,656千円） （1）文化表彰事業等 文化功労者2名、文化芸術選奨3名を表彰した。将来、県の文化芸術の振興に貢献することが期待される若手芸術家1名及び1組に文化芸術新人賞を授与するとともに、令和3・4年度受賞者による演奏会等を開催した。また、文化芸術振興審議会の開催等を行った。</p>	<p>文化芸術新人賞受賞者による演奏会等 ・令和3・4年度受賞者（音楽分野3名） 8月27日 レクザムホール・大ホール 入場者数 788人 12月24日 レクザムホール・大ホール 入場者数 1,018人</p>
<p>芸大連携美術展開催事業（1－8－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 東京芸術大学と連携した美術展覧会等を開催するほか文化芸術活動を通じて地域の活性化を担う人材の育成を図った。</p> <p>2. 具体的内容（5,068千円） （1）東京藝大連携「瀬戸内海分校プロジェクト」事業 東京芸術大学と連携し、「瀬戸内海分校プロジェクト」を開催した。これまでの美術展やワークショップの開催に加え、アーティストの制作活動等を通して、創造性を養う人材育成プログラムとして高校生らを対象に実施した。</p>	<p>リサーチ企画：8月17日～21日 参加者数 15校26名 ワークショップ：9月16日～10月23日 参加者数 37名 美術展「くらしをみ展」：10月27日～11月26日 来場者数 2,160人</p>
<p>さぬき映画祭事業（1－8－5）</p> <p>1. 趣旨・概要 香川にゆかりのある映画の上映会や関連イベント、人材育成のための講座等を開催し、映画・映像による地域文化の振興と地域の活性化を図った。</p> <p>2. 具体的内容（7,746千円） （1）映画祭2024の上映会及び関連イベントの開催 香川県出身の監督・俳優が制作・出演している作品や香川県でロケが行われた作品など、「さぬき」にこだわった作品上映や多彩なゲストを招いたゲストトークを実施した。</p> <p>（2）シナリオ講座 プロのシナリオライターや映画監督を講師として招き、シナリオ技術を学ぶ講座を実施した。</p>	<p>（1）2月3・4日の2日間開催 入場者数 1,415人 上映作品数 12本</p> <p>（2）シナリオ講座受講者数 基礎コース（全7回） 19名 専門コース（全5回） 11名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>(3) シナリオコンクール 映画化を前提としたシナリオ執筆者の裾野をより広げるため、香川県在住者もしくは出身者を対象としたシナリオコンクールを実施した。</p> <p>(4) 映画ゼミナール 映画・映像の魅力や楽しみ方、鑑賞のツボをわかりやすく紹介する講座を3回シリーズで開催した。また、講座の様子を収録したダイジェスト版を、公式ホームページでオンライン配信した。</p> <p>(5) 映画制作講座 映画監督を講師として招き、県内の高等学校放送部員が、創作テレビドラマの制作を実践的に学んだ。</p>	<p>(3) シナリオコンクール応募数 32 作品</p> <p>(4) 映画ゼミナール参加者数 延べ 209 名</p> <p>(5) 映画制作講座参加者数 6 校 16 名</p>						
<p>県民ホール事業（1－8－6）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民のニーズに沿った音楽や舞踊などの優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るため、県民ホールにおいて、文化事業を実施するとともに、同施設の管理運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県民ホール文化事業（18,947 千円）</p> <p>①舞台芸術鑑賞事業 「かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（KJO）第22回定期演奏会」、「紅白対抗かがわ舞台芸術祭」の舞台芸術公演を開催した。</p> <p>②舞台芸術人材育成事業 ジュニア・オーケストラの育成を図るとともに、東京藝術大学連携事業「かがわ音楽アカデミー」のコンクールや公開講座、同大学の「早期教育プロジェクト in 香川」を実施し、県内の児童・生徒らが、国内外の第一線で活躍する指導者から直接指導を受ける貴重な機会を得た。</p> <p>(2) 県民ホール管理運営費（241,000 千円） 指定管理者による施設の管理運営を行った。</p> <p>(3) 県民ホール舞台業務委託事業（45,024 千円） 舞台芸術公演に際し効果的な演出を行うため、照明、音響、舞台機構等の舞台業務委託を行った。</p> <p>(4) 県民ホール施設改善費（77,880 千円） 小ホール棟自動火災報知設備の修繕、空調設備の更新等を行った。</p>	<p>3. 指標 かがわ文化芸術祭の参加団体数 〔累計〕 (団体)</p> <table border="1" data-bbox="938 936 1410 1099"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2)</th> <th>実績値 (R3～5)</th> <th>目標値 (R3～7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>446</td> <td>271</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>①入場者数 KJO定期演奏会 788 人 紅白対抗舞台芸術祭 1,018 人</p> <p>②ジュニア・オーケストラ団員数 合奏コース 60 名 基礎コース 44 名</p>	基準値 (H28～R2)	実績値 (R3～5)	目標値 (R3～7)	446	271	500
基準値 (H28～R2)	実績値 (R3～5)	目標値 (R3～7)					
446	271	500					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>県立ミュージアム事業（1－8－7）</p> <p>1. 趣旨・概要 県立ミュージアムにおいて、大規模な展覧会を開催するなど、優れた美術作品や歴史的資料を鑑賞する機会の充実を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大規模展事業（31,133千円）</p> <p>① 「空海－史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人」</p> <p>② 「映画のレシピ」</p> <p>(2) 展示企画費等（13,012千円） 第70回日本伝統工芸展や常設展を企画・開催した。</p> <p>(3) 教育普及、資料管理、調査研究事業等（4,061千円） 各種講演、ワークショップ等を実施した。</p> <p>(4) 職員給与費、会計年度任用職員人件費等 (214,845千円) 県立ミュージアム・瀬戸内海歴史民俗資料館の人件費</p> <p>(5) その他管理費（165,577千円） 県立ミュージアムの管理運営を実施した。</p> <p>(6) 歴史民俗資料館運営事業（16,074千円） 瀬戸内海歴史民俗資料館において、資料収集、調査研究、教育普及などを実施した。</p> <p>(7) 文化会館運営事業（21,287千円） 文化会館において、文化芸術活動の場として広く利用できるよう管理運営を実施した。</p> <p>(8) 歴民民俗文化財保存修復事業（7,351千円） 瀬戸内海歴史民俗資料館において、テグス行商船の保存修理を行った。</p> <p>(9) 県立ミュージアム施設改修事業等（82,687千円） 県立ミュージアム本館及び瀬戸内海歴史民俗資料館の施設改修を行った。</p> <p>(10) 瀬戸内海歴史民俗資料館開館50周年事業 (2,187千円) 瀬戸内海歴史民俗資料館において、館蔵資料を活用し、年間を通じた海の学びの展示や講座、ワークショップ等を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>館蔵品データベースの登録件数 (画像あり) [累計] (人)</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1410 488"> <thead> <tr> <th>基準値 (R4)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,110</td> <td>23,218</td> <td>23,330</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催実績・入館者数</p> <p>① 4月22日～5月21日 13,233人</p> <p>② 10月7日～11月26日 3,914人</p>	基準値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	23,110	23,218	23,330
基準値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R7)					
23,110	23,218	23,330					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>香川漆芸活性化推進事業（1－8－10）</p> <p>1. 趣旨・概要 香川漆芸のブランド化を図るため、情報発信や漆芸作品の販路拡大、若手漆芸作家の制作活動等の支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 香川漆芸魅力発信戦略事業（8,111千円） ①漆芸アート魅力再発見事業 (i) 情報発信事業 富裕層の購読者が多い雑誌「家庭画報」とのタイアップにより、人間国宝の香川漆芸作家とフランスの香水メゾン「アンリ・ジャック」とのコラボ企画において、漆で加飾した香水箱を制作し、都内のショップで販売した。 (ii) 漆芸作品販売拠点整備事業 毎年3月に開催されている国内最大級のアートの見本市「アートフェア東京2024」に、漆芸研究所のブースを出展し、香川漆芸のPRを行うとともに、若手漆芸作家が出展・販売を行った。また、県内においても栗林庵や文化会館の漆芸コーナーで若手漆芸作家の作品を展示販売した。 (iii) 漆芸研究所修了作品貸出事業 漆芸研究所が所有する修了作品を、本県にゆかりのある県内外の企業・団体に対し、一定期間無償で貸出し、展示してもらうことにより、より多くの方に香川漆芸の魅力を知っていただく機会を創出した。</p>	<p>県内外での香川漆芸の認知度向上、ブランド力の強化に繋がった。</p> <p>(i) 「家庭画報」の情報発信力、アンリ・ジャックのブランド力の相乗効果で、「香川漆芸」の魅力を効果的にPRできた。</p> <p>(ii) アートフェア東京2024 出品者 若手漆芸作家2名 来場者 2,870人</p> <p>(iii) 修了作品貸出実績 貸出先数 22の企業・団体 貸出点数 57点</p>						
<p>世界遺産登録推進事業（1－8－11）</p> <p>1. 趣旨・概要 四国遍路の世界遺産登録に向けて、札所寺院の史跡指定のための詳細調査を実施するとともに、所有者や関係市町と調整を行い、史跡指定の準備を進めたほか、地域コミュニティの参画を促すための取組みなどを実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 世界遺産登録推進事業（17,152千円） ①札所寺院・遍路道調査事業 屋島寺の詳細調査を実施し、史跡指定に向けての資料を収集するとともに、八栗寺（第1分冊）の調査報告書を刊行した。 また、曼荼羅寺や金倉寺の詳細調査の成果を地域の方々にわかりやすく説明するため、地域住民等を対象に調査報告会を、地元小学生に見学授業を開催したほか、さぬき市で四国遍路を生かしたまちづくりのヒントを学ぶための講座を開催した。</p>	<p>3. 指標 札所寺院及び遍路道の保護措置数 (か所)</p> <table border="1" data-bbox="935 1442 1414 1603"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>①参加者数 調査報告会参加者数 曼荼羅寺 41人 金倉寺 67人 見学授業参加児童数 曼荼羅寺 23人（吉原小学校6年） 金倉寺 70人（竜川小学校6年） まちづくり講座参加者数 62人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	8	9	19
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)					
8	9	19					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>四国遍路世界遺産登録推進協議会の取組みとして、「普遍的価値の証明」部会において、研究会や検討会を開催し、様々な分野の専門家を交えて、四国遍路の価値の中間まとめ（小結）を取りまとめたほか、「資産の保護措置」部会において、重要文化的景観の保護手法等について検討を行うなど、課題解決に向けた取組みを進めた。</p> <p>②日本遺産登録推進事業 日本遺産に認定されている「四国遍路」をPRするため、日本遺産フェスティバル(R5. 11. 4・5 東京都八王子市)、ツーリズム EXPO ジャパン 2023 (R5. 10. 26～29 インテックス大阪)、日本遺産の日関連イベント (R6. 2. 10～12 有楽町駅前広場)に出展するとともに、県内の日本遺産に認定された市町に対し、補助事業や情報発信に対する助言などの支援を行った。</p>	
<p>讃岐の伝統文化保存継承事業（1－8－12）</p> <p>1. 趣旨・概要 地域の伝統文化や暮らしの文化を次世代に継承できるよう、文化資源の掘り起しなどのための調査等を行ったほか、魅力発信など価値向上の取組みを支援した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業 (1,467千円) 瀬戸内海歴史民俗資料館において、地域に受け継がれてきた暮らしにまつわる文化について調査を行うとともに、その成果を展示等で発信した。</p> <p>(2) 地域に息づく讃岐の伝統文化再発見事業(2,160千円) 地域の保存団体等が実施する伝統文化を再認識する講座や後継者育成、魅力発信などの活動経費の一部を補助した。</p>	<p>(1) 瀬戸内ギャラリー企画展 「伝統と創造 讃岐のり染」 令和6年3月9日～5月19日</p> <p>(2) 交付実績 4件</p>

2. 課総括表

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-9-1	給与費	108,082	107,805		277	瀬戸内国際芸術祭推進課職員の給与費等 給与費51,546、職員手当等33,984、共済費20,545
1-9-2	瀬戸内国際芸術祭推進総務費	8,463	6,968		1,495	瀬戸内国際芸術祭推進課の運営に要する経費
1-9-3	瀬戸内国際芸術祭推進事業	43,219	42,571		648	主要事業の成果の概要(1-9-3)に記載
	課計	159,764	157,344		2,420	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
瀬戸内国際芸術祭推進課	12	2	14	育児休業1名
合計	12	2	14	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>瀬戸内国際芸術祭推進事業（1－9－3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>令和7年4月に開幕する「瀬戸内国際芸術祭 2025」に向けて着実に準備を進めた。また、過去の芸術祭作品をアート資源として公開し、各種イベントなどを開催する「ART SETOUCHI」活動を実施することにより、島々の活性化や芸術文化によるにぎわいづくりを図るとともに、瀬戸内の魅力や「アートの香川」を発信し、芸術祭に向けた機運を高めていった。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 瀬戸内国際芸術祭推進事業（37,057千円）</p> <p>①取組方針の策定</p> <p>「瀬戸内国際芸術祭 2025 取組方針」の策定・見直しを行った。</p> <p>②作品制作へ向けた準備</p> <p>(i) 各会場の地域資源を活かしたアートプロジェクトを募集することを目的に、国内外に向け作品公募を実施した。</p> <p>(ii) 地元市町等の関係者と勉強会や個別協議を重ねながら、作品展開等の検討を行った。</p> <p>③受入環境の整備等</p> <p>地元市町や関係団体、事業者等と協議を行いながら、海上・島内交通などの受入環境の整備や広報、来場者への情報提供等の準備を行った。</p> <p>④関係団体との連携</p> <p>芸術祭 2022 の協賛企業・団体等を対象とした SETOUCHI 企業フォーラムを開催し、芸術祭会場の視察や有識者とのセッションを通じ、企業経営者などに対して、芸術祭の目的や地域の変化について理解を深めてもらい、意見交換を行う機会を提供した。</p> <p>⑤「ART SETOUCHI」活動の実施</p> <p>(i) 芸術祭 2022 の継続作品をアート資源として有効活用し、公開するとともに、各種イベントやアーティストによるワークショップを開催する「ART SETOUCHI」活動を実施し、年間を通じた地域の活性化に取り組んだ。</p> <p>(ii) 未来の瀬戸内を担う人材を育成するため、県教育委員会や県内の高等学校等と連携して芸術祭に関する課外活動等を実施した。</p> <p>(2) 若手芸術家育成プログラム事業（5,514千円）</p> <p>①瀬戸内アート塾の開催</p> <p>県内において、文化芸術の分野における後進の指導・育成に携わるような人材を育成するため、県内出</p>	<p>効果・評価</p> <p>(i) 作品公募に対する応募件数：638組、725点（うち国外：168組、185点）</p> <p>④ SETOUCHI 企業フォーラムの参加者数：19団体、22人</p> <p>(ii) 学校連携事業の参加者数：43人</p> <p>① 瀬戸内アート塾の応募者数：32人、参加者数：19人</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>身や県内で活動する 39 歳以下の若手芸術家を対象に、瀬戸内の歴史や文化、民俗等を学ぶ講座や芸術祭会場での現地研修を実施した。</p>	

2. 課総括表

課名：デジタル戦略課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-10-1	デジタル戦略課運営費	97,781	97,148		633	デジタル戦略課の運営に要する経費 給料49,298、職員手当等30,361、共済費17,489
1-10-2	官民連携DX推進事業	70,402	47,605	20,000	2,797	主要施策の成果の概要(1-10-2)に記載
1-10-3	情報通信関連産業育成・誘致事業	61,470	59,120		2,350	主要施策の成果の概要(1-10-3)に記載
1-10-4	情報通信交流館維持管理事業	242,417	241,474		943	eーとぴあ・かがわ(情報通信交流館)の運営管理に要する経費
1-10-5	公的個人認証サービス運営事業	28,240	28,240			主要施策の成果の概要(1-10-5)に記載
1-10-6	地域高度情報化推進事業	1,002	923		79	地域情報化推進に要する経費
1-10-7	オープンデータ推進事業	2,240	2,140		100	オープンデータカタログサイト運用に関する経費
1-10-8	情報システム推進事業	9,790	9,789		1	主要施策の成果の概要(1-10-8)に記載
	課計	513,342	486,439	20,000	6,903	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：デジタル戦略課

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
デジタル戦略課	[1] (10) 12		[1] (10) 12	
合計	[1] (10) 12		[1] (10) 12	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を〔〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を（）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>官民連携DX推進事業（1－10－2）</p> <p>1. 趣旨・概要 令和3年12月に策定した「かがわデジタル化推進戦略」の進め方である「共創」と「創発」により、県・市町・民間事業者が集い、交わり、共創する「かがわDX Lab」の活動拠点の運営を開始するとともに、地域課題解決のための実証実験等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 官民連携DX推進ナビゲート事業（1,781千円） 「かがわDX Lab」の取組みを進めるにあたり、デジタルトランスフォーメーション（DX）に関し専門的知見を持つ外部人材を「かがわDX Labフェロー」（県CDO補佐官と兼務）として登用。 (2) 官民連携DXトライアル事業（4,153千円） 地域課題解決を通じたまちづくりに取り組む官民共創コミュニティ「かがわDX Lab」において、8つのワーキンググループを設置し、革新的サービスを生み出すための実証実験を実施。 実証実験：マイナンバーカードを活用した官民共創引越し手続きのワンストップ化 (3) かがわDX Lab運営事業（13,089千円） 令和5年4月開設の「かがわDX Lab活動拠点施設」の管理運営費（指定管理） (4) データ連携基盤整備事業（28,050千円） 多様なデータを横断的に収集・共有・活用することを可能とし、利用者目線に立ったサービスの提供等、県・市町・民間事業者等が利用可能な地域のデータ連携基盤のあり方について調査・検討を実施した。 (5) デジタル化推進事業（532千円） 「かがわデジタル化推進戦略」を着実に進めるとともに、生成AI等、先端技術の利活用の推進について検討した。</p>	<p>3. 指標 かがわDX Labにおいて創出したサービスの件数〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="943 398 1401 539"> <thead> <tr> <th>基準値 (R4年度)</th> <th>実績値 (R5年度)</th> <th>目標値 (R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>生成AIセミナー 参加：160名</p>	基準値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	0件	0件	9件
基準値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)					
0件	0件	9件					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>情報通信関連産業育成・誘致事業（1-10-3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>人材交流・ビジネスモデル創出のオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」を中心に人材育成事業を実施するとともに、拠点に集う多様な人材の交流、起業相談やビジネスマッチング支援の実施などを通じて、情報通信関連産業の育成・誘致に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 情報通信関連人材育成事業（30,958千円）</p> <p>①アプリ開発等人材養成講座 アプリ等の開発に必要となるプログラミングスキルを短期集中的に習得する講座を実施した。</p> <p>②Webクリエイター養成講座 Web制作やマーケティング、動画編集等に関するスキルを習得する講座を実施した。</p> <p>③アントレプレナーシップ養成事業 事業創造に必要となる意識づけ・動機の可視化からビジネスモデル構築までを一体的に学ぶ講座を実施した。</p> <p>④DXベーススキル養成講座 DXの基礎からAIやIoTといった先端技術、デジタルマーケティング等について体系的に学習することで、DX領域のベーススキル向上を目指す基礎講座をオンラインで開講した。</p> <p>⑤デジタル社会の未来セミナー デジタル社会の実現に向けて先端技術を幅広く情報収集する機会として、セミナーを実施した。</p> <p>(2) 情報通信関連産業育成・誘致拠点運営事業（28,162千円）</p> <p>①アドバイザーチーム拠点活動事業 県内外の情報通信関連分野で活躍する企業経営者や有識者19名から構成するアドバイザーチームを組成。拠点利用者のビジネスモデルの創出や課題解決につなげるため、定期的にアドバイザーを招きセミナー</p>	<p>3. 指標</p> <p>Setouchi-i-Baseの拠点利用者数 〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="943 398 1401 555"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2年度)</th> <th>実績値 (R5年度)</th> <th>目標値 (R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,162人</td> <td>38,862人</td> <td>45,162人</td> </tr> </tbody> </table> <p>Setouchi-i-Baseにおける拠点活動を通じた起業・フリーランス・就職等の件数 〔累計〕</p> <table border="1" data-bbox="943 757 1401 913"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2年度)</th> <th>実績値 (R5年度)</th> <th>目標値 (R7年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>135件</td> <td>155件</td> </tr> </tbody> </table> <p>①受講者数 11名</p> <p>②受講者数 11名</p> <p>③受講者数 12名</p> <p>④受講者数 365名</p> <p>⑤かがわ情報化推進協議会と連携し、計7回のセミナー等を開催 受講者数延べ279名</p>	基準値 (R2年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	4,162人	38,862人	45,162人	基準値 (R2年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	5件	135件	155件
基準値 (R2年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)											
4,162人	38,862人	45,162人											
基準値 (R2年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)											
5件	135件	155件											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>などを実施した。</p> <p>②コーディネーター拠点支援事業 「Setouchi-i-Base」に専任のコーディネーターを配置し、拠点利用者からの相談への対応やビジネス化に向けた伴走支援、新たなネットワークづくり、情報発信などを行ったほか、拠点利用者による情報通信関連の技術やサービス、アイデアコンテストの開催などに取り組んだ。</p> <p>③戦略的情報発信事業 Setouchi-i-Base ポータルサイトの運用保守や、SNS 広告を活用した広報活動などに取り組んだ。</p> <p>公的個人認証サービス運営事業（1-10-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民や事業者が、インターネットを通じて電子申告や電子申請、公共施設予約を行えるよう公的個人認証サービスの提供を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 公的個人認証サービス運営事業（26,440 千円） 電子申請や電子申告をする際に成りすましやデータの改ざんを防止し、厳格な本人確認を安価に行える公的個人認証サービスの運用管理を行った。</p> <p>(2) 地方公共団体情報システム機構負担金（1,800 千円）</p> <p>情報システム推進事業（1-10-8）</p> <p>1. 趣旨・概要 庁内業務の効率化を図るため、A I 等の活用を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) A I 等の活用による業務効率化推進事業（9,789 千円） 庁内の業務についてR P AやA I - O C R等を利用して自動化・効率化を推進した。</p>	<p>②相談対応件数 個人 388 件 法人等 151 件 ネットワーク・情報発信イベント 開催数 110 回 参加者数 会場 713 名 オンライン 1,314 名</p> <p>③拠点利用者数 38,862 名(累計) 「Setouchi-i-Base」ポータルサイト W e b 会員数 2,583 名(累計)</p> <p>A I 等を活用した業務効率化により削減できた時間(推計) 10,384 時間</p>

2. 課総括表

課名：情報システム課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-11-1	情報システム課運営費	119,857	119,558		299	情報システム課の運営に要する経費 給料61,296、職員手当等36,102、共済費21,547
1-11-2	一般庁費等	3,677	3,273		404	集中管理特別会計（機械計算事務費）繰出金
1-11-3	電子県庁推進事業	31,097	31,084		13	主要施策の成果の概要（1-11-3）に記載
1-11-4	行政情報化推進事業	2,062	865		1,197	行政情報化推進に要する経費
1-11-5	行政情報ネットワーク推進事業	90,481	87,663		2,818	行政情報ネットワーク推進事業費 映像情報システム運営事業費
1-11-6	情報システム推進事業	602,976	534,402		68,574	主要施策の成果の概要（1-11-6）に記載
	課計	850,150	776,845		73,305	

3. 職員数の状況（R6.3.31現在）

課名：情報システム課

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
情報システム課	17	2	19	
合計	17	2	19	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>電子県庁推進事業（1-11-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）総合行政ネットワーク参画事業（31,084千円） 自治体や国の省庁等との間の情報交換の基盤である総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用管理を行った。</p>	<p>自治体や国の省庁等との間の情報交換の基盤である総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用管理を行った。</p>
<p>情報システム推進事業（1-11-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 情報システムの適切な調達・運用を図るため、情報システムの調達審査を行うとともに、セキュリティにも留意して基幹系情報システム等の運用を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）情報システム推進事業（534,402千円）</p> <p>①情報システム等の審査 情報システム等審査委員会において、予算要求時審査を148件、調達開始前審査を70件実施した。</p> <p>②基幹系情報システムの運用等 財務会計、給与、電子入札等の基幹系情報システムの運用を行った。</p> <p>③情報セキュリティ対策強化事業 情報セキュリティ強化のために構築した庁内システムの運用を行うとともに、県内市町と共同で導入した自治体情報セキュリティクラウドの運用を行い、高度なセキュリティ対策を実施した。</p> <p>④オンライン会議環境運用事業 県庁において、会議や研修等をオンラインで実施できる環境の運用を行った。</p>	<p>①情報システム等審査における情報システム経費の削減額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算要求時審査：約10億円（令和6年度予算要求ベース） ・調達開始前審査：約12億2000万円（令和5年度分。長期契約における複数年度の削減額を含む。） <p>④オンライン会議の主催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ4,183回

2. 課総括表

課名：出納局

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-12-1	出納局運営費	55,249	54,187		1,062	出納局の運営に要する経費
1-12-2	給与費	224,482	223,885		597	出納局職員の給与費 給料116,639、職員手当等 68,503、共済費38,743
1-12-3	電子申請・電子 決済実施事業	35	25		10	主要施策の成果の概要 (1-12-3)に記載
1-12-4	電子契約システ ム運用事業	399	399			主要施策の成果の概要 (1-12-4)に記載
	課計	280,165	278,496		1,669	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：出納局

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
出納局	27	4	31	育児休業1名
合計	27	4	31	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>電子申請・電子決済実施事業（1-12-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民・事業者の利便性向上を図るため、手数料等の納付を必要とする行政手続において、電子申請でのキャッシュレス決済を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 電子申請・電子決済実施事業（25千円） 申請等から手数料等の納入までの手続をデジタルでも完結できるよう、電子申請・届出システムにキャッシュレス決済機能を付加し、手数料等の収納を行った。</p>	<p>利用可能手続 80 種目 （令和5年度末現在） 収納件数 46 件 （令和5年10月～6年3月）</p>
<p>電子契約システム運用事業（1-12-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 契約手続における事務の効率化やコスト削減を図るため、電子契約システムの運用を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 電子契約システム運用事業（399千円） インターネット上で契約を締結することにより、契約書の印刷・製本や郵送・持参、押印等が不要となる電子契約システムを導入し、運用を行った。</p>	<p>契約件数 148 件 （令和6年1月～3月）</p>

2. 課総括表

課名：議会事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-13-1	県議会だより発行事業	823	823			県議会の広報誌を年5回発行する経費
1-13-2	県議会会議録情報発信事業	1,680	1,381		299	本会議及び委員会での質疑の記録を県議会のホームページ上に提出する経費
1-13-3	本会議等中継発信事業	2,220	2,211		9	本会議及び委員会の映像を県議会ホームページ上で、インターネットを通じ配信する経費
1-13-4	香川県議会パーレス会議システム整備事業	12,582	12,072		510	議案等の資料を電子データ化しタブレット端末で閲覧するパーレス会議システムを導入する経費
1-13-5	県議会議員費	650,495	642,892		7,603	議員の報酬及び費用弁償並びに議員活動に必要な諸経費
1-13-6	政務活動費	143,430	143,430			議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として議員に交付する経費
1-13-7	議会事務局運営費	357,258	352,181		5,077	議会事務局の運営に要する経費 給料 147,489、職員手当等 89,325、共済費 47,916
	課計	1,168,488	1,154,990		13,498	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：議会事務局

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
議会事務局	31	18	49	
合計	31	18	49	

2. 課総括表

課名：監査委員事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-14-1	監査委員費	18,919	18,698		221	監査委員の報酬等 委員報酬6,624、委員給与費 11,362、委員活動費712
1-14-2	監査委員事務局 運営費	109,429	107,814		1,615	監査委員事務局の運営に要する経 費 給料55,284、職員手当等 32,665、共済費18,086
	課計	128,348	126,512		1,836	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：監査委員事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
監査委員事務局	12		12	
合計	12		12	